

女性支援看護学演習

4 units

Sachi Kishida · PROFESSOR / HEALTH SCIENCES, Mari Haku · PROFESSOR / HEALTH SCIENCES

Target) 女性の健康問題について特論で選択・抽出し、文献検討を重ね、その問題・解決策を考えた内容を、ひとつの看護理論を選んで、その理論に基づいて、現象あるいは概念を、臨床現場で検証を行う。

Outline) 女性の健康問題について、臨床現場(家庭、地域、病院等を含む)での実習を経験することで、検討した問題や課題への対策を実践し、その内容に関してスーパーバイスを受けながら、実践の意味を深め、看護理論での応用を考えていく。

Keyword) 女性の健康, 看護理論

Relational Lecture) “女性支援看護学特論”(0.5)

Goal)

1. 女性の健康問題に関しての看護上の分析を行うことができる。
2. その問題に関しての解決策を計画できる能力を養う。
3. 解決策に関しての計画を実施できる能力を養う。
4. 計画立案, 実施の過程における演習を通じて評価を行い, その理論への応用力を養う。

Schedule)

1. 女性の健康問題について, 実践現場で理論検証するための計画を考える。(岸田・葉久)
2. 女性の健康問題について, 実践現場で理論検証するための計画を考える。(岸田・葉久)
3. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
4. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
5. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
6. 実践での理論活用に関するスーパーバイスを行う。(岸田・葉久)
7. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
8. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
9. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
10. 実践での理論活用に関するスーパーバイスを行う。(岸田・葉久)
11. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
12. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
13. 計画の実行を, 臨床現場で行なう(演習の実施)。(岸田・葉久)
14. 実践での理論活用に関するスーパーバイスを行う。(岸田・葉久)
15. まとめ・女性の健康問題に関して, 理論を用いて検証することについての討議を行う。(岸田・葉久)

Evaluation Criteria) 演習への参加度, プレゼンテーション, レポートの提出にて総合的に評価する。

Textbook) 演習の中で適宜紹介する

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216978>

Contact)

⇒ Kishida (+81-88-633-9032, skishida@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 月 17:00-19:00)

⇒ Haku (+81-88-633-9080, haku@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL